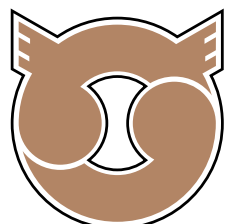


べ っ
別

1

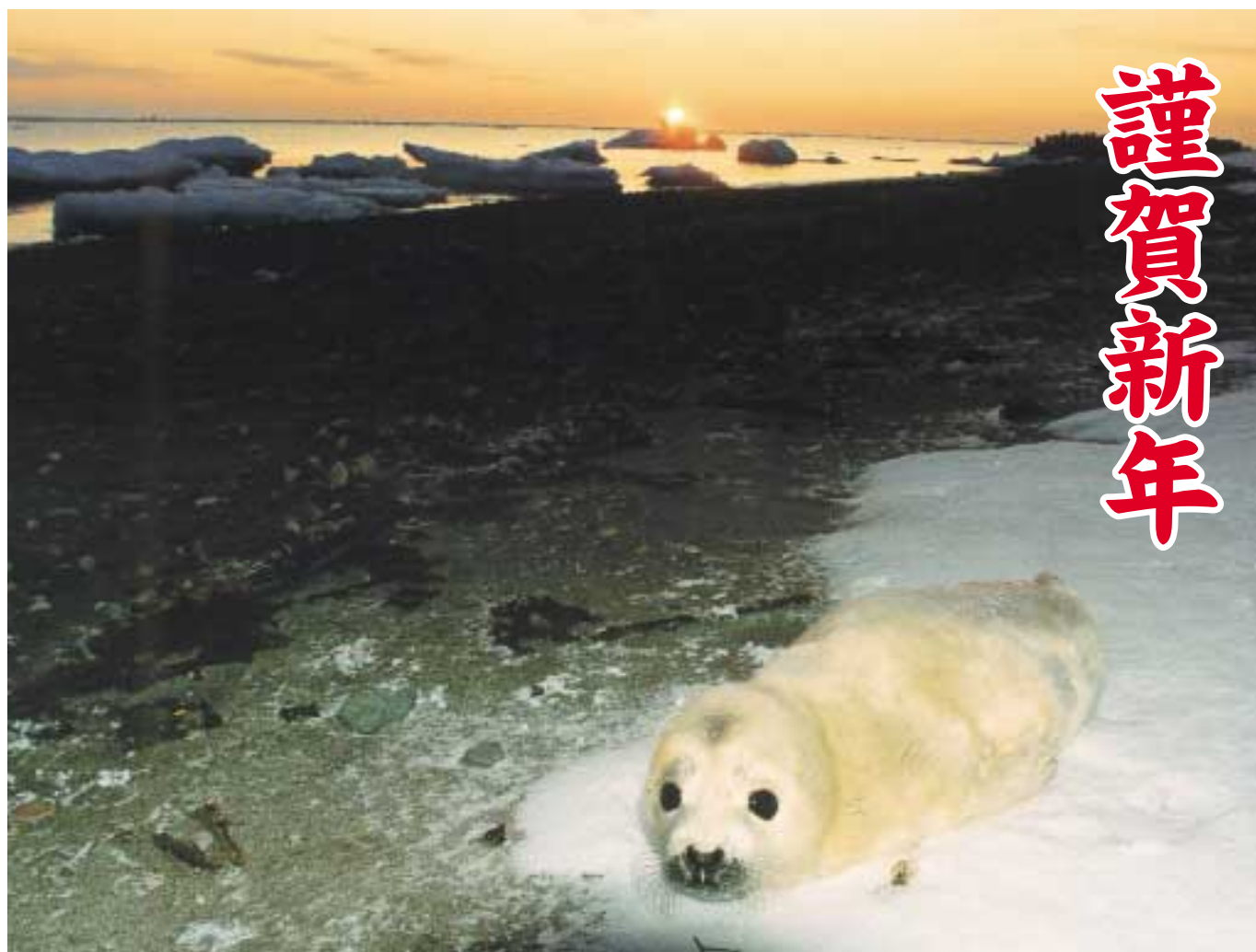


波頭で海を表現。
中央の分銅は町内の興隆。
左右に跳ねた翼は躍進。

か い
海

希望に輝く初日の出

昨年日本の各地でアイドルとなった「アザラシ」。別海町では八月から十月にかけて、野付半島を回る遊覧船からゴマフアザラシが砂浜に寝ている姿や水の中から飛び出す丸い頭を多く見ることが出来ます。白いアザラシは赤ちゃんで、大人になるとグレーの身体に黒い斑点ができ、ゴマをふりかけたような模様で全身が包まれます。



謹賀新年

町民の皆様、東京ふるさと会、札幌ふるさと会の皆様、明けましておめでとうございます。輝かしい新年をご家族の皆様と共にご健勝で迎えられることと存じ、心からお慶び申し上げます。

今、時代は景気回復のかけ声とは別の方向に進み、「デフレ・スパイラル」と言われる様相を呈し、経済は暗いトンネルを抜け出すことができない深刻な状況と思います。

我が別海町は、昨年「町制施行三十周年、新庁舎の落成」と新しい歴史を踏み出しました。

第一次産業である酪農・畜産そして漁業を中心に商工業・観光を第三の産業と位置づけ、また、お年寄りや弱い立場の方々には優しく接し、社会



新しい時代に向けて

別海町長 佐野 力三

の中心を担う世代にはより遅しく、次の世代を担う青少年には新しい感性をそれぞれ期待しつつ、町民の皆様と共に力を合わせて取り組んでまいりました。着実に新しい芽生えを実感しております。

酪農・畜産については、事実上、夏がなかったような気候ではありましたが、牧草の収穫・生乳生産は、安定水準を保つことができました。

また、一昨年発生し、畜産関連の皆様に深刻な影響と打撃を与えた「BSE」問題、そして「食肉偽装事件」は、肉牛向け個体供給地域である当町に大きな影響を及ぼしました。国をはじめ行政と関係機関が一致協力して対応した結果、昨年後半からようやく信頼が回復されつつあります。ま

だまだ取り組まなければならない課題が多くありますが、引き続き関係機関と協力しつつ、酪農・畜産の支援を進めてまいります。

漁業は、大宗漁業であります秋鮭が、豊漁の予想で大いに期待していたところでありますが、予想外の低調であり、加えて輸入サケ・マス量の増大と低価格の影響を受け、大幅な減収であったことは残念であります。

ホタテ、ニシン、北海シマエビ漁などは、ほぼ順調であったと思いますし、更に、今後にも期待できるものと思っております。引き続き漁業振興に、可能な限り支援をしてまいります。

商工業・観光は、全国的な不況の影響を受け、

苦闘の年でありました。今後は、新しい視点から取り組む必要があり、関係者と協力しつつ、一層の努力を続けたいと考えております。

小泉内閣が進めている構造改革は、財政再建の名のもと、地方自治体の財政を直撃しつつあり、我が町でも大幅な地方交付税の減額の影響を受けて、自主財源確保とより一層の合理化を余儀なくされております。

市町村合併も、半ば強制力を伴う強い指導があります。私は市町村合併を否定するつもりはありませんが、強制には絶対反対であり、地方自治体の自主的判断を尊重すべきものと考えており、今年には町民の皆様と大いに議論を深めたいと考えて

おりますとともに、方向性を見出す大切な年になるのではないかと予感しております。

少子高齢化への取り組み、大切な河川保護、水質改善など環境問題の取り組みなどのほか、特に次の世代を担う子ども達の教育環境の整備は、重要であると考えております。

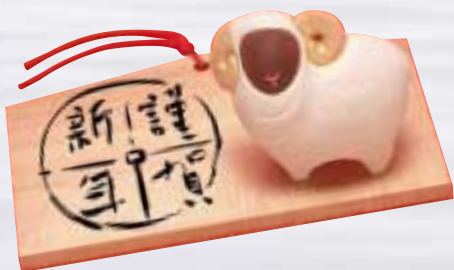
当町の風土にふさわしい、遅しく、そして優しい人材を育てるため、生涯教育を柱として、地域全体で取り組んでいかなければなりません。

今年は更に改革の波が高くなると予想されます。行政サービスの低下は極力避けなければならぬと考えておりますが、いろいろな分野に影響が及ぶことになるものと思います。ぜひご理解、ご協力をお願いいたします。

新年早々、明るい話題が少ないのは残念であります。我が町には広い大地と豊かな海、素晴らしい景観、若い産業の担い手、五百億円の生産力という財産があります。

今は厳しい時代ではありますが、明るい未来を求めて、町民の皆様と力を合わせて切り開いていきたいと思っております。

皆様のご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、日頃から暖かいご支援とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

早いもので、私が議長に就任して今年四月で四年の任期を終えようとしております。振り返って見ますと、地方分権の推進や介護保険の導入、そして広域ごみ処理施設建設、市町村合併問題など時代の激しい変化の中で、たえず困難な問題に直面していたように思います。こうした問題を判断するには議員の資質向上や議会の活性化が必要との信念から、議会運営の改善に取り組んだ四年間でありました。これは各議員の協力を得て大きく前進したと思っております。



更なる発展を期して

別海町町議会議長 小原 長俊

議員の任期は残すところわずかではありますが、先人の積み重ねた成果に更によりよい町の繁栄を目指し、町民の皆様の信頼とご期待に応えるよう努力する決意であります。変わらぬご支援を重ねてお願い申し上げます。

日本の経済は、視界がなかなか開かない低迷状態が続いています。すでにバブルが崩壊して十年以上たっても不良債権問題の重圧による、株安、個人消費、設備投資の低迷など、抱える心配の種は尽きない厳しい状況が続いております。こうした中、国は「聖域なき構造改革」の下、経済、財政などあらゆる分野で改革を推進しており、本町でも交付税が大幅な減額となり大きな影響を受け

ております。とりわけ交付税への依存が高い本町にとつて、山積する行政需要に対応するために、行財政改革の問題や課題を明確にして、町民の皆様と共に考えていかなければならない時期になったように思います。

特に、生活関連社会の資本整備や少子高齢化に対応した地域福祉、資源循環型社会の構築に向けた環境施策など、個性豊かで活力ある地域社会を構築するためには、事業の選択や緊急性などを十分に考慮して決定することが必要であり、これまでに以上に町民の皆様の理解が求められております。

こうした厳しい財政状況を踏まえて、町民の皆

様が生きがいと希望を持って安心して生活していくために、皆様の意見が反映された清新で活発な議会活動を通して、新世紀にふさわしい地方議会を確立しなければならぬと考えております。

さて、昨年十二月からダイオキシンの排出規制により、ごみ焼却施設が稼働できなくなり、リサイクル可能なもの以外はすべて埋め立てされております。管内四町では広域で処理するための処理施設を本町に建設する構想が示されました。しかし、示された富岡地区の建設候補地については、被害を懸念した厳しいご意見が出され暗礁に乗り上げる事態となりました。このため、行政と議会が一体となつて解決に努めなければならないとの

認識から、特別委員会を設置して調査をしてまいりました。これからのごみ処理をどうするのか、行政と町民が十分な話し合いをして、さまざまな問題を共に解決し、理解と協力のもとに進めなければならないと痛感しております。この問題は建設地域だけのことではありません。町として、どうあるべきなのか、町民の皆様にもこの際真剣にお考えいただきたいと思ひます。

市町村の規模・能力面の強化が必須課題であるとして、市町村合併が国をあげて推進されております。しかし、合併はあくまでも自主的なものでなければなりません。合併が、抱える問題をすべて解決してくれる特効薬ではありません。とりわけ本町は、他町村より広い面積を有しておりますが、その広い豊かな環境の中で、私どもは長い間に地域にあった知恵を身に付けてきております。そうした地域の特性や知恵を積極的に活用し、新しいまちづくりへつなげていくことが大切なことだと考えております。

公共施設の利用は勿論のこと、子育て支援や高齢者対策など血の通った行政がどこまで提供できるのかなど、合併後にどんな生活が待っているのか町民の皆さんと一緒に考えて判断しなければならぬと思ひます。豊かな生活の場を維持し、更に発展させ次代の子どもたちに引き継ぐことが私どもの使命ではないでしょうか。私ども議決機関として、町民福祉の向上を図り二十一世紀の本町のあるべき姿を見極めて、適切な判断をするよう努める所存であります。

終わりに、町民皆様の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。まして年頭のご挨拶といたします。

市町村合併



まちの将来を考える



「市町村合併」を考える行政懇談会

十一月六日から十四日までの六日間、町内十カ所の地域会館等で、二百二十九名の町民、議員の方々の出席をいただいて、「市町村合併」を考える行政懇談会を行いました。
この懇談会では、町民の皆さんから多くの貴重なご意見、ご質問等をいただき大変ありがとうございました。皆さんから寄せられた、主なご意見やご質問などを紹介します。

主な意見・要望等

○合併はあくまで住民主体でなければならぬ。財政的な面ばかりでなく、不利益にならないように住民の総意をもって合併するように、いろいろな情報、判断材料を町が提供して町民の皆さんに判断を仰いだ上で進めて欲しい。

○住民が受けるサービスで重要なものとして医療の問題がある。複数の市町村が協力して広域的に取り組むことにより、中央に高度医療施設を造ることが出来るのではないか。最初は医療から、そしてそのようなものが集まって協同でやっていることが合併に発展していく、そう考えてはどうか。

○合併より先にやることがあるのではないか。ゴミ処理問題や消防、病院の問題など生活レベルのことから広域連合等で処理を進めていき、日常生活の中から合併という大きな問題につなげて考えていくべきでないか。

○合併というのは地域が良くなるための手段であるから、それを起点に考えて行政に頼らず、まちづくりは、我々の出来る事は我々でやる、我々の文化を守るというような議論を十分戦わせる形で進めていくべきである。

○町が独自で突っ走っていくことだけは絶対にしてほしくない。全国の自治体の中には、独自の道を歩む宣言をした町もある。国に逆らっているといけないということではない。



主な質問等

Q 行政サービスの面ばかりでなく、地域住民の暮らしやすさなどの面からの検討も必要でないか。

A 財政面のことばかり考えた合併議論は寂しい気がする。やはり合併を考える場合には、町の将来、夢とかいろいろなものがなければいけない、そういう合併ならしい方がいいと思います。

Q 権限が中央から委譲された場合、地方には許認可の権限等が与えられても専門的資格や知識を持った人材が確保できないのではないか。

A 地方に権限を下ろしても今の小規模町村では受け止められない、合併して規模を大きくすることによって人材の確保ができる。地方分権を進めるためには市町村合併が必要だというのが国の言い分です。国の言い分は間違っていない、合併を否定できない理由がそこにあります。

Q 単独で我慢するより合併したほうが良いのではないか。

A 町民が、我々はどんな辛抱でも、どんな負担でもするから合併しないほうがいいという意見、あるいは出来るだけ有利に国から支援を受けられるよう合併した方がいい、最終的にそういう意見に集約されるかもしれない。そこに至るまで議会などと相談しながら勉強して、合併しないと町民と町に著しい不利益を及ぼす、という判

断が出来たときには合併をせざるを得ないと思います。その時には皆さんにもう一回説明をしてその上で住民投票をします。

Q 各市町の首長の考え方は総じてどうなのか、町長はどうみているのか。

A 北海道の市町村長の大半は、国が一方的に住民感情を無視して地方自治をないがしろにするものであり、係数だけで合併を強要するのはけしからんという意見で、私もそう思っています。しかし、国が法律でやることには逆らいようがありません。

Q 合併しないでほしい。別海町の特色を生かしてこの町を守っていく方法はないか。

A 合併しなくてもやっていく方法はありません。それには条件があります。住民の皆さんがこれから進める行政に対して我慢することです。出来るだけのことはしますけれど、例えば、支所・出張所などは廃止しなければならぬ、町からの補助金なども減らし、バスの無料など今のサービスを低下せざるを得なくなります。手数料や使用料などを高くする、あるいは税金を高くして負担してもらえば今のサービスは確保できます。しかしこれは人口の流出につながりますから出来ません。そうするとサービスを低下させるしかない、それでも我慢するというのが一つの条件になります。

Q 他の市町では、道の示した合併パターンのか。

A 一市四町とも勉強している最中で、どこどこが合併するという議論はまだありません。ただ、四町の首長で合併検討会を作って四町の合併ということも視野に入れて検討しています。

一市四町または四町が合併して一つの自治体を構成する。あるいは四町の他に標茶町とか弟子屈町、斜里町など大きな自治体を構成するということも考えられると思います。

以上、市町村合併を考える行政懇談会の主な内容についてお知らせ致しましたが、今後も町民の皆様によりわかりやすい資料を提供していきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

市町村合併に関するお問い合わせは、企画調整課広域行政担当までお問い合わせください。

☎ 5-2111 (内線2214)



別海町文化賞・スポーツ功労者表彰式



町の文化・スポーツの振興に功績のあった方々を表彰する「平成14年度別海町文化賞・スポーツ功労者表彰式」が11月26日に役場会議室で行われました。

文化奨励賞に1名・1団体、スポーツ功労者優秀選手賞に14名・5団体が表彰され、平賀教育委員長から表彰状と盾が贈られました。

文化奨励賞

(民謡) **西田ヒサ子さん** 昭和3年3月23日生 上春別91番地

昭和48年に別海民謡愛好会に加入し、さまざまな大会に出場し、素晴らしい成果を収めました。現在では、北海道民謡連盟師範として唄と三味線の指導にあたりながら、別海町の行事や老人ホームの慰問などの活動を行っています。

30年にわたり民謡一筋に精根を込め、後継者育成や普及活動に力を注いできたことは芸術文化の振興に大きく貢献されました。

朝霧文学会 代表/玉井裕志さん 会員15名

昭和41年に結成し、原野に生きる人々を題材とした文学作品を広く普及する事を目的に活動。小説の他にエッセイ(詩)、短歌、俳句等総合文芸誌「朝霧」は22号を発行し、地域に根ざした文化活動は他の模範であり芸術文化活動の普及発展に尽力しています。

スポーツ功労者優秀選手賞

上田 志樹さん 白樺学園高校1年/平成13年度全国中学校体育大会第22回全国中学校スケート・アイスホッケー大会男子500m優勝、国際スケート連盟2002スピードスケート競技会オリンピックオーバーバルファイナル男子500m13位(日本中学新記録)

宮越 奈帆さん 白樺学園高校1年/平成13年度全国中学校体育大会第22回全国中学校スケート・アイスホッケー大会女子1500m優勝、国際スケート連盟2002スピードスケート競技会オリンピックオーバーバルファイナル女子中距離総合16位(日本中学歴代3位)

川崎みなみさん 白樺学園高校1年/平成13年度全国中学校体育大会第22回全国中学校スケート・アイスホッケー大会女子3000m優勝、国際スケート連盟2002スピードスケート競技会オリンピックオーバーバルファイナル女子中距離総合21位(日本中学歴代4位)

宮越 勇人さん 釧路商業高校3年/平成13年度全国高等学校総合体育大会第51回全国高等学校スケート・アイスホッケー選手権大会男子10000m2位

下地 優さん 日本体育大学1年/平成13年度全国高等学校総合体育大会第51回全国高等学校スケート・アイスホッケー選手権大会女子1500m6位

下地 研さん 別海中央中学校3年/平成13年度全国中学校体育大会第22回全国中学校スケート・アイスホッケー大会男子5000m優勝

中山 裕大さん 別海中央中学校3年/平成13年度全国中学校体育大会第22回全国中学校スケート・アイスホッケー大会男子1500m優勝

郷 亜里砂さん 上西春別中学校3年/平成13年度全国中学校体育大会第22回全国中学校スケート・アイスホッケー大会女子500m2位

郷 葉璃那さん 上西春別中学校1年/第24回北海道スポーツ少年団スピードスケート競技大会小学女子6年500m優勝

佐々木陽香さん 札幌大学1年/少林寺拳法第33回北海道学生大会自由単独演武女子初段の部最優秀賞、第23回少林寺拳法北海道大会自由組演武一般女子初段の部最優秀賞

上林 亨さん 北海道教育大学旭川校3年/第54回北海道学生陸上競技対校選手権大会男子10000m優勝

片岡 祐介さん 北海道教育大学大学院1年/第54回北海道学生陸上競技対校選手権大会男子5000m優勝

渡部 義康さん 中標津高校3年/第55回北海道高等学校ラグビーフットボール南北選手権大会北ブロック優勝

赤間 健一さん 中標津高校2年/第55回北海道高等学校ラグビーフットボール南北選手権大会北ブロック優勝

別海中央中学校男子スケート部

下地研、中山裕大、福岡祐也、菊池義和、菊池和宣、高田勇作、丹羽大地/平成13年度全国中学校体育大会第22回全国中学校スケート・アイスホッケー大会スピードスケート競技男子団体優勝

別海中央中学校女子スケート部

宮越奈帆、川崎みなみ、猫塚麻衣、渡邊慶子、宮越真奈/平成13年度全国中学校体育大会第22回全国中学校スケート・アイスホッケー大会スピードスケート競技女子団体優勝

中西別中学校男子スケート部

上田志樹/平成13年度全国中学校体育大会第22回全国中学校スケート・アイスホッケー大会スピードスケート競技男子団体3位

別海高校定時制バレーボール部

會田直美、大内舞、早坂祐美、佐藤知美、馬場裕美、會田郁恵、大竹美記枝、田村美沙紀、畑中里美/第29回全国高等学校定時制通信制バレーボール大会準優勝

別海高校定時制女子卓球部

佐藤友美、日下里沙、星里美、工藤美穂/第30回北海道高等学校定時制通信卓球大会女子団体の部優勝

別海町の森林が 「北の魚つきの森」に 認定されました！



十二月十五日、別海町が「北の魚つきの森」に認定され、マルチメディア館で認定記念式典が行われました。

近年、森が魚にとって大切だということから、道内各地で森づくり活動が盛んに行われております。「北の魚つきの森」は、地域の自主的な森づくりの活動を広く紹介し、その輪を全道各地に広げることを目的に、大切にしていかなければならない道内の森林を名前を付けてみんなで守り育てていく認定制度です。

当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川などが町内全域に流れていている別海町で「川を考える月間」の制定や「西別川流域コンサート」・「お魚殖やす植樹運動」などで美しい海や川、森と野生動物の生活環境を後世に引き継ぐための森づくり活動が認められたものです。雄武町、乙部町に次いで三番目の認定を受けました。



西別川流域コンサート 連合実行委員会が知事感謝状受賞



十一月二十八日、西別川周辺の環境づくり活動を行っている「西別川流域コンサート連合実行委員会（館定宣実行委員長）」に、平成十四年度住みよい環境づくり優良実践者知事感謝状が贈られました。

同実行委員会は、平成八年に設立し、全国でコンサート植樹活動を行っている「しらいみちよ」さんを招き、西別川流域コンサートを行っており、その収益の一部を植樹や清掃活動に活用し、流域の環境美化を図っています。

同委員会は住民に自然の大切さと、自然を一人ひとりが守っていかねばならないことを伝えています。

手作り「あずまや」完成



11月上旬、西春別スケートリンク横の鉄道防風林跡地に住民手づくりの「あずまや」がお目見えしました。今年の9月から、「西春別駅前まちづくり委員会」（委員長竹崎芳男）の有志ら約15人がボランティアで造ったものです。広さ約20平方メートル、中にはテーブルとベンチが4台あり、住民は気軽に利用できます。

牛乳いっぱい飲んでね



町内の酪農家でつくるミルク王国（佐々木茂成国王）は、12月16日から1週間かけて町内の保育園、幼稚園を訪問し、697名の園児に文具をプレゼントしました。

目を輝かせて国王を出迎えた園児たちに、王冠とマントに身を包んだ国王は「たくさん牛乳を飲んで元気な良い子に育ってね」と牛乳のPRをし、ヨーグルトのプレゼントもしました。

この訪問は、今年で14回目です。

十二月十五日、別海理容師会会員十一名（会長加藤一夫）は、別海町特別養護老人ホーム「清翠園」を訪れ、入所者八十五名へ三時間程かけて散髪奉仕をしました。理容師の鮮やかな手さばきで進められる散髪を入所者は気持ち良さそうに受け、「すっきりしました。これで新しい気持ちで新年を迎えられます。」と喜んでいました。

この散髪奉仕は年二回、特別養護老人ホームが開設されてから続いているボランティア活動です。



すっきりと
新年を迎えられます！



二瓶 トモさん（大成72の13）
大正元年11月30日生



佐藤 ハナヨさん（別海西本町52）
大正元年11月28日生

町内在住で九十歳を迎える方を祝う「別海町長寿賞」が次の方々に贈られました。

長寿九十歳
おめでとう



日	曜日	診療内容
9	木	皮膚科 札幌医大 遠藤 元宏 医師
10	金	皮膚科 札幌医大 遠藤 元宏 医師（午前診療）
		小児神経外来 札幌医大 館 延忠 医師
14	火	耳鼻咽喉科 札幌医大 新谷 朋子 医師
15	水	耳鼻咽喉科 札幌医大 新谷 朋子 医師（午前診療）
23	木	皮膚科 札幌医大 松坂 英信 医師
24	金	皮膚科 札幌医大 松坂 英信 医師（午前診療）
27	月	耳鼻咽喉科 札幌医大 坪田 大 医師
28	火	耳鼻咽喉科 札幌医大 坪田 大 医師（午前診療）

循環器内科外来

1月から、市立根室病院のご協力により循環器系の専門医師による外来診療を実施することになりました。
診療日程は、毎週水曜日（午前のみ）です。

外科・整形外科

外科診療は毎日、午前のみ診療しています。整形外科診療は毎日、午後のみ診療しています。薬は、診療時だけしか処方せんが出ませんので注意願います。

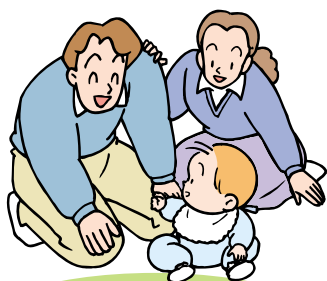
小児科からのお知らせ

原則として予防接種を木曜日の午後といたします。かぜひきさんとの接触を避けるため、一般の患者さんは、午前中に受診されますようお願いいたします。

病院職員の募集について

町立別海病院では、看護師を募集しています。
受付は随時行っていますので、病院事務課総務担当までお問い合わせください。

日	曜日	イベント内容
1/3	金	新春スプリント山根杯 町営スケートリンク 9:00～
5	日	別海消防出初式 役場駐車場 10:00～
		別海町新年交礼会 ウエディングプラザ別海 12:00～
7	火	成人式 中央公民館 13:30～
9	木	平成14年度別海町21世紀子ども議会 議場 10:00～
19	日	別海町町民スケート大会 町営スケートリンク 9:00～
		上春別地域室内レクリエーション 上春別地域センター 10:00～
26	日	西部地区スケート大会 西春別スケートリンク 9:00～
2/2	日	別海ロータリークラブ杯スケート大会 町営スケートリンク 9:00～
		東部地区スケート大会 尾岱沼スケートリンク 9:00～
8	土	上春別冬祭り 上春別地域センター前 10:00～
9	日	白鳥まつり 尾岱沼白鳥台 10:00～14:00



2月の保健業務予定

町民保健センター ☎5-0359

日	曜日	予定内容	場所	時間
3	月	乳幼児相談	町民保健センター	10:00～14:30
4	火	乳幼児相談	西春別ふれあいセンター	10:00～11:30
		母親教室	町民保健センター	10:00～12:00
5	水	乳幼児相談	東公民館	10:00～11:00
6	木	4ヶ月健診	町立別海病院	12:30～13:00
12	水	母親教室	町民保健センター	10:00～12:00
13	木	母親教室	町民保健センター	10:30～12:00
18	火	1歳3ヶ月歯磨き教室	町民保健センター	10:00～11:30
		母親教室	町民保健センター	11:00～12:30
19	水	1歳半健診	町民保健センター	12:30～13:00
20	木	4ヶ月健診	町立別海病院	12:30～13:00
26	水	3歳児健診	町民保健センター	12:30～13:00
27	木	フッ素塗布	西春別ふれあいセンター	10:00～11:30
				13:00～15:00
28	金	フッ素塗布	町民保健センター	9:30～11:30
				13:00～15:30



竹内小太郎くん (亘)



菅野 涼ちゃん (敏夫)



菅野 凛ちゃん (敏夫)



門間 涼太くん (勝司)



清実 春斗くん (司)



尾形 憂星くん (義弘)



北井 円花ちゃん (史)



竹内 聖花ちゃん (剛)



高田 蒼也くん (嘉秋)



松田菜々美ちゃん (潤)



石渡 由莉ちゃん (一人)



福原 駿くん (寛樹)



松川 朱里ちゃん (浩三)



守屋 由真ちゃん (勲)



大南 陽都くん (優)



小崎 果雅ちゃん (豊)



袴田 真央ちゃん (充輝)



小山内綾音ちゃん (定俊)



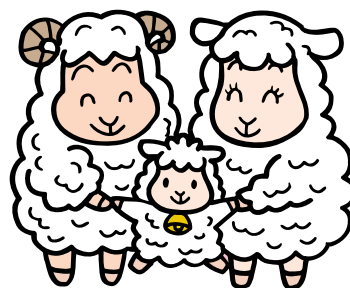
原内 隼くん (修)



山桑 朱莉ちゃん (哲)



高下 愛叶くん (秀則)



お知らせ 伝言板

別海町役場 5-2111
西春別支所 7-2131
尾岱沼支所 (01538) 6-2166
上風連出張所 5-7326
上春別出張所 5-6011

平成14年度臨時種畜検査

牛及び馬の種畜検査が行われます。希望される方は1月17日(金)までにお申し込みください。

○検査日程

- 牛／2月20日(木)
- 馬／2月21日(金)

申込・問合せ／農政課酪農畜産担当（内線1417）

平成15年度奨学生募集

町教育委員会では、別海町奨学資金貸付条例に基づき、平成15年度の奨学生を募集しています。ご希望の方は、平成15年3月25日(火)までに学校教育課へ申し込みください。

○資格要件

- 別海町の住民であり、学資金の支弁が困難と認められるもの
- 医科大学または、教員養成大学の在学・合格者
- 特殊な技能教育または、専門

教育で適当と認められる学校の在学・合格者

- 看護学校または、看護師養成所の在学・合格者
- 前記以外の大学などで適当と認められる学校の在学・合格者

○必要書類／奨学資金貸付申請書、家庭状況調査書、推薦書、合格通知書の写し又は在学証明書

○貸付額／大学・短期大学・専門学校などは1人月額2万円または3万円（選択）

問合せ／教育委員会学校教育課（内線3611）

北海道 競争入札参加資格審査申請の受付

根室支庁では、平成15・16年度に北海道が発注する建設工事等・ボイラー等運転操作・物品購入等・清掃・警備及び消防設備点検等についての競争入札に参加を希望される根室支庁管内の皆様の資格審査申請を受け付けます。

○受付期間／1月16日(木)～24日(金)、2月5日(水)～14日(金)

○受付時間／9:30～16:30

○受付場所

建設工事等…根室支庁研修室

物品の購入等…根室支庁会計課管財係

清掃・警備等…根室支庁総務課総務係

◆集中受付

○日時／1月21日(火)9:30～16:30

○場所／中標津町総合文化会館第3研修室

◆物品の購入等に係る申請書用紙の配布

○配布期間／12月24日～

○配布場所／南根室地区農業改良普及センター、中標津社会福祉事務出張所、根室支庁総務部会計課管財係

問合せ／建設工事等・物品の購入等…根室支庁会計課（☎0153-24-5430）、清掃・警備等…根室支庁総務課（☎0153-24-5414）

別海町 平成15・16年度 競争入札参加資格審査申請の受付

平成15・16年度における別海町への物品の納入の他、建設工事・測量・設計などの営業に際して必要な競争入札資格審査申請を受け付けます。

なお、各申請部門の資格要件についての詳細は、役場前の掲示板に告示しているほか、別海町ホームページ（役場紹介→財政課→契約のこと）に掲載しています。

○受付期間／2月3日(月)～28日(金)（土・日・祝祭日を除く）

○受付時間／9:00～17:00

○受付場所／別海町役場2階201会議室

○書類の提出方法／持参（郵送は受理しません）

○申請用紙

- 建設・測量・調査・設計部門…市町村統一様式で(社)北海道土木協会にてお買い求めください。
- 物品部門…別海町独自様式で別海町役場内で頒布しており、別海町ホームページでも入手できます。また、郵送も可能で、返信用封筒（A4判140円切手）を同封の上、お申し込みください。

問合せ・用紙申し込み先

〒086-0205北海道野付郡別海町別海常盤町280番地
別海町役場総務部財政課契約担当（内線2314・2315）

快適な冬の暮らしを守るため



別海町も本格的な冬を迎える季節となりました。別海町では住民の生活を守るため、融雪期まで除雪車を出動させて除雪に取り組んでいきます。除雪作業は通学・集乳時間前の完了を目標に行っております。

広い別海町の除雪を円滑に行う為、次のことについて町民皆様のご協力をお願いいたします。

- 道路に支障となる物件は一切置かないで下さい。除雪車がはね飛ばしたり、除雪機械が破損することになります。
- 除雪した道路に、敷地内や屋根などの雪を押し出すことは絶対にしないでください。道路に雪を出すことで道幅が狭くなったり「わだち」ができたりするなど、交通事故の原因や通行の支障となります。雪は自分の敷地内で処理してください。



- 路上に駐車しているたった一台の車のために、大型の除雪車が前に進めなくなることがあります。このような場合は除雪が後回しになったり、除雪ができないことがあります。となり近所の皆さんの迷惑となり、救急車・消防車の活動のさまたげになりますので、路上駐車はしないようにしてください。
- 毎年寄せられる苦情で最も多いのが、除雪車が通った後の玄関先にたまった雪のことです。除雪作業は、広い地域を短時間で効率よく回らなければなりませんので、一戸一戸の玄関先にたまった雪を個別に処理することは、大変困難なことです。玄関先の雪は、各家庭で除雪するようにしてください。

問合せ／建設部事業課（内線3217）



別海町のスケート大会日程 詳細については、町民体育館へご連絡ください（☎5-2882）

12月29日	日	別海町体育協会長杯スケート記録会	別海町営スケートリンク
1月3日	金	新春スプリント山根杯スケート大会	別海町営スケートリンク
1月19日	日	別海町民スケート大会	別海町営スケートリンク
1月26日	日	別海西部地区スケート大会	西春別スケートリンク
2月2日	日	別海町ロータリー杯スケート大会	別海町営スケートリンク
2月2日	日	別海東部地区スケート大会	尾岱沼スケートリンク
2月16日	日	西春別駅前スケート大会	西春別スケートリンク



平成15年別海町新年交礼会

平成15年1月5日(日) 12:00～13:00

会場／ウエディングプラザ別海 会費／2,000円 主催／別海町内会連絡協議会・別海町



要項は図書館、移動図書館、各公民館、役場支所・出張所にあります。また、昨年までの文集が図書館にありますので、参考にしてください。

問合せ／図書館（☎5-2266）

別海町観光写真コンテスト 2月28日まで

- テーマ／町内の四季の自然風景、イベント中心の観光写真。人間生活を写し込んだスナップ的なもの、現代社会をとらえたもの
- 部門／自然の部、イベントの部、動植物の部
- サイズ／カラー・白黒プリントは六切りから四切り、リバーサルカラーは35mm判以上
- 応募締切／2月28日(金)
- ※詳しい応募要領は役場・支所・出張所、管内の写真店に置いてあります。

問合せ／役場観光課内別海町観光協会事務局（内線1614）

第26回別海町少年少女及び 第14回別海町読書感想文 コンクール作品募集

図書館では、小中学生と高校生、一般町民の皆さんの読書感想文コンクールの作品を募集しています。

心に残った1冊を感想文にまとめてお寄せください。

- 小中学生の部／学校ごとに応募してください
- 高校の部／別海高校・町内在住の高校生が対象
- 一般の部／町内在住の一般成人の方が対象
- 対象図書／自由（雑誌を除く）
- 締切／2月1日(土)
- 応募先／別海町図書館及び移動図書館車はくちょう2世号で受け付けます。
- 賞及び賞品／入賞者には賞状と賞品、入賞者を除く応募者全員に記念品を贈ります
- 入賞発表／2月中旬に応募者全員にお知らせするほか、広報別海3月号、北海道新聞に発表します。なお、入賞作品をまとめた文集を3月中旬に発行します。
- その他／応募用紙、詳しい募集

安全な水をお届けします

本町の水道水質について、6月の新聞報道以来町民の皆様には多大なる不安とご迷惑をおかけいたしました。

水道事業では、水質改善に向けて7月より高度浄水処理施設の建設工事を進めてまいりましたが、11月下旬に大部分の工事を終えて試験運転を開始、良好な試験結果を得ながら、12月末に完了します。

1月からは施設の連続運転を開始して、安全で安定した処理水を皆様へお届けする予定であります。

高度浄水処理水の給水開始状況については、別海広報2月号にも掲載すると共に、別海町水道事業のホームページで随時情報を公開してまいります。

安全な水を安心してお使いいただけるよう、今後とも水道水の安定供給に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

水道事業のホームページへは、別海町のホームページ→役場紹介→水道事業からお入り下さい。
問合せ／水道課（内線4513）

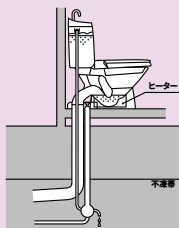
快適生活・下水道

◎水洗トイレの凍結に注意を

別海町のような寒冷地では、水洗トイレが日中でも凍結し、破損することがあります。

長期間家を空けるときは、便器についている電熱ヒーターのコンセントを差し込んだままにしておき、水抜栓で水落としをしてタンクの中を空にしておくことが凍結防止の安全な方法です。

また停電時の対策としては不凍液を防臭装置部（便器内の水のたまっているところ）に入れる方法もあります。



水道管の凍結にご注意！

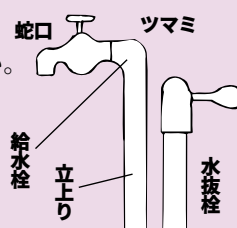
寒さも一段と厳しい時期となり、給水栓内の水を落とさないと凍結してしまいます。日中でも長い時間水を使わない時や、おやすみ前には、必ず水を落としてください。

※水を落とす時

蛇口を開いて水を出したまま、水抜栓のハンドルを閉じてください。

※水を出す時

蛇口を開いたまま、水抜栓のハンドルを開いてください。



場企画調整課・支所・出張所へお問い合わせください（数に限りがあります）。

問合せ／企画調整課（内線2212）



友好都市カレンダー

北海道老人大学釧路校 学生募集

- 資格／60歳以上等
 - 修業年数／2年間
 - 負担金／年額5,000円
 - 場所／釧路市総合福祉センター
 - 募集締切／1月27日(月)
- 詳細・問合せ／福祉課高齢者福祉担当（内線1317）

平成15年住宅・土地統計準備 調査の実施について

総務省では、平成15年住宅・土地統計調査の準備調査を実施します。

12月半ばから平成15年2月1日にかけて、町内の指定された調査区を任命された調査員が実地調査に回ります。調査員は必ず「調査員証」を携帯しておりますのでご協力願います。

問合せ／総務課統計広報担当（内線2116）

「友好都市カレンダー」が できました

別海町と友好都市関係にある枚方市（大阪府）、塩江町（香川県）、中村市（高知県）、名護市（沖縄県）の3市2町で組織された「友好都市サミット協議会」は、2003年友好都市カレンダーを製作しました。

カレンダーには、3市2町を代表する風景や行事が写真によって紹介されています。

カレンダーを希望される方は役



郵便局の ミニレター

ご家庭が不在となる場合、 郵便物を留置くことが できます

旅行等でご家族全員が不在となる場合、郵便局では配達を保留してお預かりしておくことができます。

郵便局に用意しております「郵便物留置届」を出していただくとサービスを受けることができます（電話での受け付けはできません）。

〈注意点〉

- 郵便物の種類を限定しての留置はできません。
- 留置は、世帯全員分となります。
- 留置期間は、最長30日以内です。
- 届出と窓口で郵便物をお渡しするときには、正当の受取人であることの確認をさせていただきますので、ご了承ください。

証明書類の例は、運転免許証・健康保険証・パスポートなどの住所・氏名が確認できる書類です。

書き損じたはがきは 交換できます

書き損じた年賀はがきや官製はがきは、手数料をお支払いいただくと、切手又ははがきと交換できます。

使わなくなった切手も、違う切手又は、はがきと交換できます。

詳しくはお近くの郵便局までお問い合わせください。

ありがとうございました

- ▽ヤマガシ合（別海）
- ▽つくるつとの会（上春別）
- ▽卯野 典子さん（西春別）
- ▽中田 富夫さん（本別）
- ▽金田 トクイさん（西春別 駅前寿町）
- ▽末廣 さみ子さん（別海旭町）
- ▽倉本 幹博さん（神奈川県）
- ▽佐藤 久美子さん（上風連）
- ▽田島 澄男さん（西春別 幸町）
- ▽菊馬 ツネさん（中春別 南町）
- ▽佐々木 照幸さん（西春別）
- ▽田中 アキノさん（別海旭町）
- ▽高橋 玉代さん（本別海）
- ▽大竹 新次さん（上春別）
- ▽中島 実さん（別海旭町）
- ▽特別養護老人ホーム清翠園
- ▽橋本 良子さん（豊原）
- ▽郷 敏幸さん（西春別）
- ▽俊吟会（別海宮舞町）
- ▽社会福祉協議会

寄付

新年に家族揃って無事故の誓い

別海町の交通事故発生状況 発生39件、死者9名、傷者51名
前年同期比 (－7) (＋3) (－4)
(平成14年1月1日～12月17日)

「毎月15日は、道民交通安全の日です」

国民年金Q&A

Q、先日、20歳になったばかりの学生ですが、国民年金に加入しなければならぬと聞きました。国民年金制度は何のためにあるのですか。また、基礎年金の仕組みについて教えてください。

A、すべての人が等しく年金を受けられるよう、年金制度は運営されています。国民年金はすべての人に共通の「基礎年金」を給付する事を目的に運営されています。その費用は日本に住所のある20歳以上60歳未満のすべての人が加入し、保険料を公平に負担することによって賄われる仕組みになっています。これは国民年金制度が「世代と世代の助け合い」という相互扶助を基本とした考えにたっているからです。

また、国民年金は同じ公的年金制度である厚生年金制度や共済組合等の土台という側面もっています。つまり、厚生年金保険や共済組合に加入する人も同時に国民年金の加入者であり、年金が受けられるようになったときは国民年金から基礎年金を、厚生年金保険や共済組合等からは上乗せ給付を受けるわけです。

このように、国民年金は老若男女、職業の区別無くすべての人が参加して社会を支えていくものです。あなたも20歳となったわけですから、国民年金に加入してください。

収入が無く、保険料の納入が困難な場合は「学生納付特例」の制度がありますので国民年金窓口でご相談下さい。

社会保険事務相談所開設日

日時／2月18日(火) 13:00~17:00

会場／中標津経済センター

問い合わせ／町民課戸籍年金担当

(内線1225)

**☆国民年金保険料の納付は
安心・便利・確実な口座振替・
自動振り込みで！**

お誕生おめでとう

(保護者)

- ▷坂本 亮介 (りょうすけ) ちゃん (男) 清 一 (尾 岱 沼)
- ▷高木 唯人 (ゆいと) ちゃん (男) 寿 公 (尾 岱 沼)
- ▷平林 未有 (み ゆ) ちゃん (女) 鋭 治 (中 春 別)
- ▷吉川 凜 (り ん) ちゃん (女) 裕 和 (別 海)
- ▷新保 早彩 (さあや) ちゃん (女) 弘 文 (上 風 連)
- ▷高橋 歩大 (あゆと) ちゃん (男) 治 (別 海)
- ▷須藤 かいり ちゃん (女) 博 一 (床 丹)
- ▷山田 愛弓 (あゆみ) ちゃん (女) 恭 嗣 (中 春 別)
- ▷川畑 香奈 (か な) ちゃん (女) 秀 晃 (美 原)
- ▷小川 稀瑠亜 (きるあ) ちゃん (男) 秀 明 (尾 岱 沼)

ご結婚おめでとう

- ▷高橋 智・谷内 恵子さん (中 西 別)
- ▷内藤 忠信・川村 美穂さん (尾 岱 沼)
- ▷川鍋 博・榎木とも子さん (別 海)
- ▷後藤 琢匡・佐々木瑠美さん (別 海)
- ▷井上 保・田中 清子さん (尾 岱 沼)

お悔やみ申し上げます

- ▶岡部 とみさん (86歳) (本 別)
- ▶草野 よし子さん (81歳) (西春別駅前)
- ▶野村 トシさん (80歳) (別 海)
- ▶佐々木みどりさん (42歳) (西 春 別)
- ▶井南外次郎さん (89歳) (別 海)
- ▶田島 洋子さん (56歳) (西 春 別)
- ▶内澤 きくさん (95歳) (別 海)
- ▶若松 信男さん (68歳) (尾 岱 沼)
- ▶中田 早苗さん (12歳) (本 別)
- ▶田中 一郎さん (79歳) (別 海)
- ▶佐藤 敏子さん (82歳) (別 海)
- ▶金田 博さん (73歳) (西春別駅前)
- ▶山岸 正一さん (74歳) (別 海)
- ▶佐藤喜美男さん (46歳) (上 風 連)
- ▶倉本 登さん (82歳) (別 海)
- ▶卯野 斉さん (46歳) (西 春 別)
- ▶末廣 初さん (72歳) (別 海)

おめでた・おくやみ

十一月一日から十一月三十日届出分まで

◆明けておめでとうございます。毎年、今年こそ何かいいことありそうだと期待をしながら新年を迎えています。昨年は、倒産・リストラ・幼児虐待などという言葉が毎日のようにメディアから流れ、暗い気持ちになりました。その中で、町内の中学生、高校生達が色々なスポーツ大会やボランティアなどで頑張っているニュースに心が慰められました。今年も、町の明るい話題を探し皆さんに伝えていきたいと思っています。(尾)

◆明けておめでとうございませう。数年前に担当する町民のイベントや表彰の変わり様が見えてくる。イベントでは年齢層ごとのアトラクションを設けたり、より一層楽しんでもらえるように思考をこらした工夫も見られる。今回、文化・スポーツ功労者表彰式が行われ、スポーツの方ではたくさん選手が選ばれた。広報誌ではあまにもたくさんいるので、文字が小さくなってしまった。読者には見にくく申し訳ないが、うれしい悲鳴である。これ以上、人数が多くなると大変だ。良い悲鳴は何度上げてもけっこうだが、悪い悲鳴は上げたくない。紙面で「訂正とお詫」は出さないよう努力している。(た)

編集後記

新しい家族増す朝初暦

太田 トシ子

お嫁さんを迎えたのか、孫が生まれたのか。その他いすれにしても家族が増えるのはお目出たいことだ。
初暦をめくる身に幸せがあふれる。

今西 青峰



●町の木●
ナラ



●町の鳥●
ハクチョウ



●町の花●
センダイハギ

広 報 別 海 1月号

まちの人口／17,012人(－12)
男／8,481人(－3) 女／8,531人(－9)
世帯／6,053世帯(+9)

平成14年11月30日現在 ()は前月比

別海町ホームページ

<http://www.betsukai.gr.jp/>



この広報紙には森林保護のため
再生紙を使っています